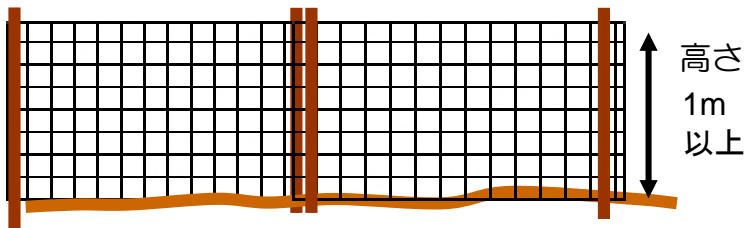


金網柵の設置

(ワイヤーメッシュ) (イノシシ、シカ用)

イノシシ対策

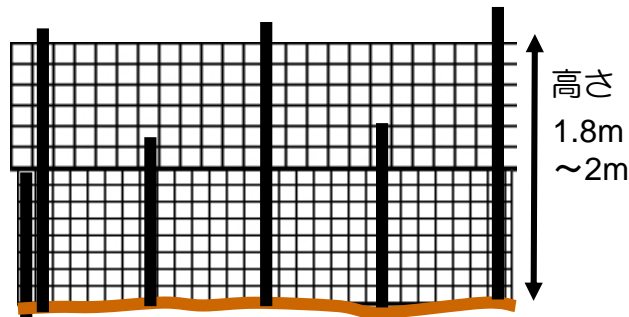
(高さ1mの場合、上部約30cmを折り返す工夫もある)



網目: 10cm以下
線径: 5mm程度

イノシシ+シカ対策

下部	上部
網目: 10cm以下	網目: 15cm以下
線径: 5mm程度	線径: 3mm以上



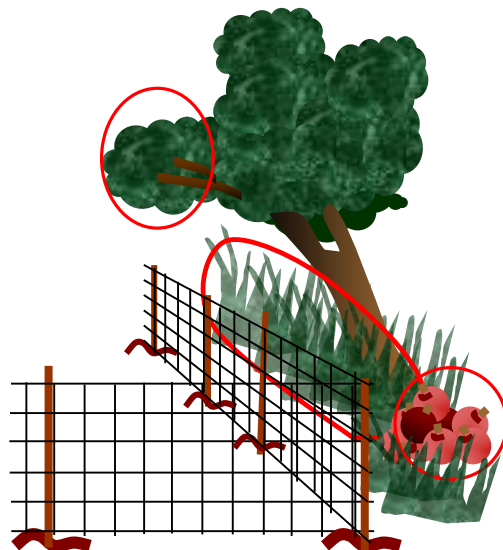
設置環境の整備

管理しやすく、守りやすい柵に！！

周囲がやぶだと、、、

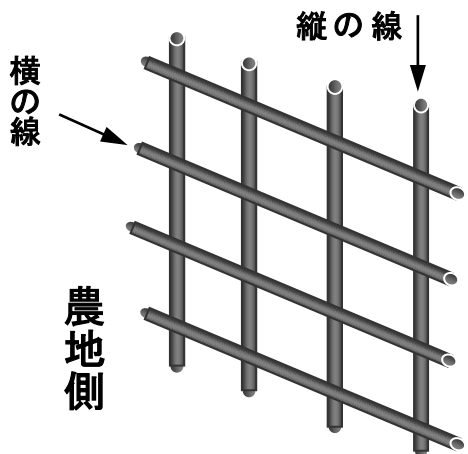
- 管理作業に労力がかかる。
- 獣が容易に柵に接近する。
- 獣の侵入痕跡を探しにくい。

- 周囲のやぶを整理
- 誘引物 (不要残渣、生ゴミ等) の除去
- かぶさっている樹木・枝の除去



資材の使い方

縦線を外側 (獣側) に設置！！



相手 (獣) を知って、正しく設置

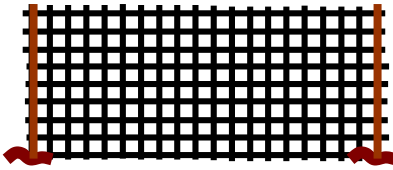
イノシシは、縦線は鼻で押し、横線は咥えて引っ張る傾向があります。

外側 (獣側)



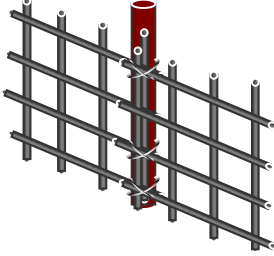
適切な設置 ポイントは、グラグラしないこと！！

支柱の設置



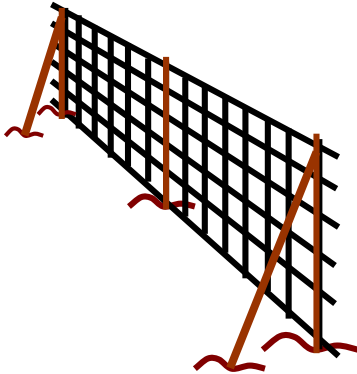
資材と支柱の目安 (ぬかるみの無い、平坦な立地の目安)
線径5mm以上 #10cm →支柱間隔 2m以内
線径3.2mm #10cm →支柱間隔 約1m

- グラグラしないように、支柱を適正本数使用。
(※ 必要な支柱の本数は、資材や立地環境により変わる)



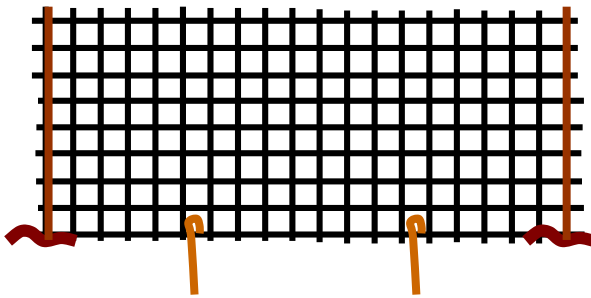
- パネル同士の縦線を支柱に重ね合わせる
- たすき掛けにして固定する
- 下の方を特にしっかり固定する

補助支柱の設置



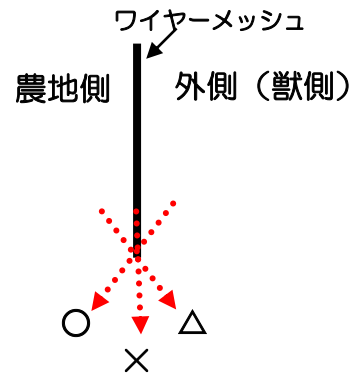
- グラグラしないように、補助支柱を設置
- 柔らかい土壌では、補助支柱を増やす
- 高い柵を設置する場合は、補助支柱を増やす

アンカーの設置



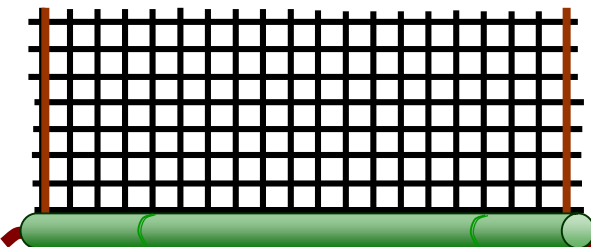
- 1枚のパネルに2本程度を打ち込む
(※ 必要なアンカーの数は、資材や立地環境により変わる)

アンカーを打ち込む向き



- 外側から農地に向かって斜めに打ち込むと、引き抜かれにくい。

下部の補強



- 竹や廃パイプを地面に沿わせて固定すると、下部を強化できる
(※ 丸太を使用する場合は、腐ったり、虫が発生する前に交換する)

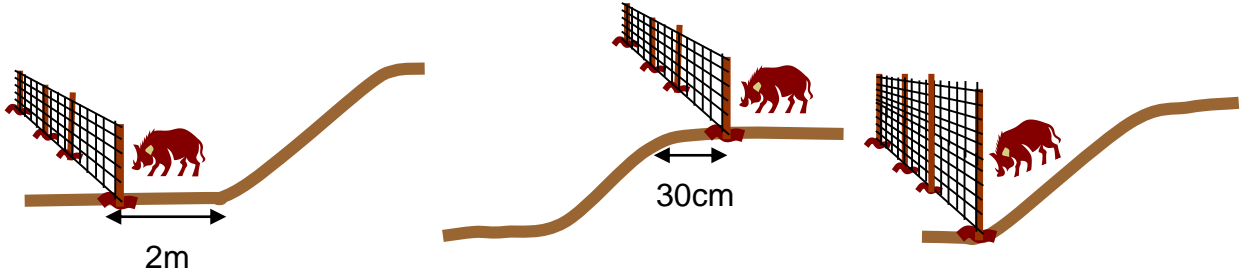
適切な設置 地形と設置方法

崖・山部地形

斜面下部、斜面から約2m以上離して設置

斜面の肩から30cm以上離して設置
(斜面際は崩されやすい)

斜面尻では、高さを増やして設置

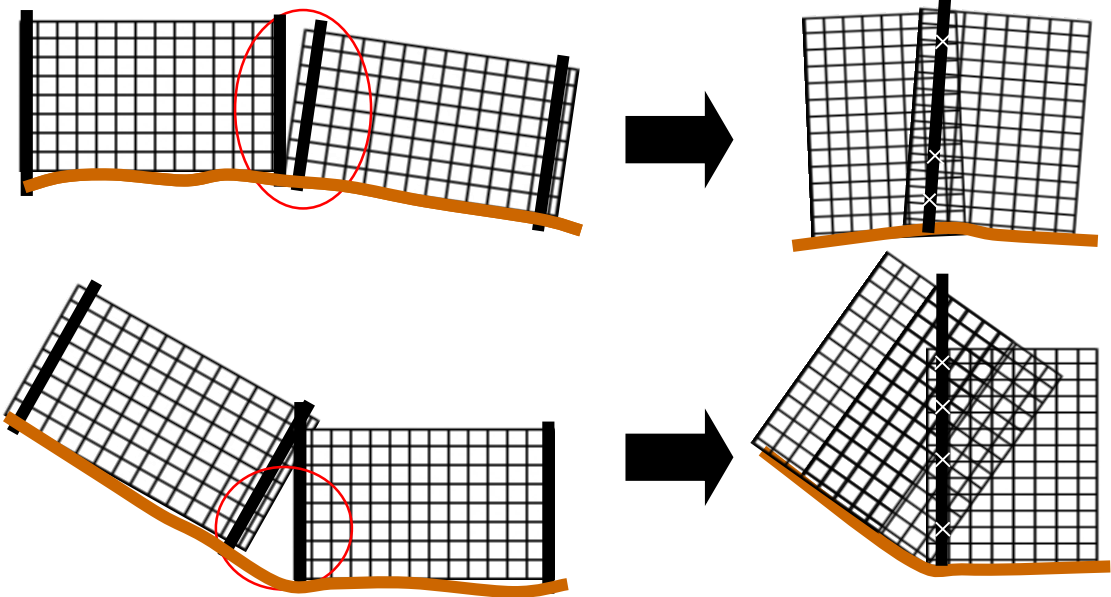


× 悪い例

地形が変われば、スキ間ができる

惜しみなく、スキ間なく

パネルを重ねる

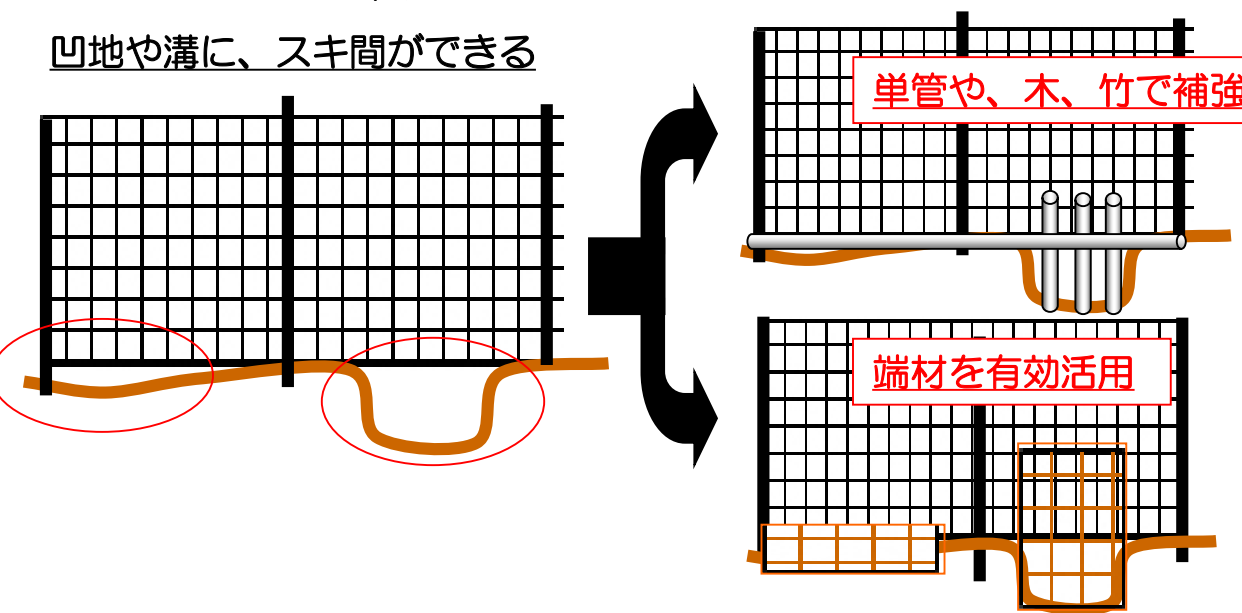


× 悪い例

凹地や溝に、スキ間ができる

単管や、木、竹で補強

端材を有効活用

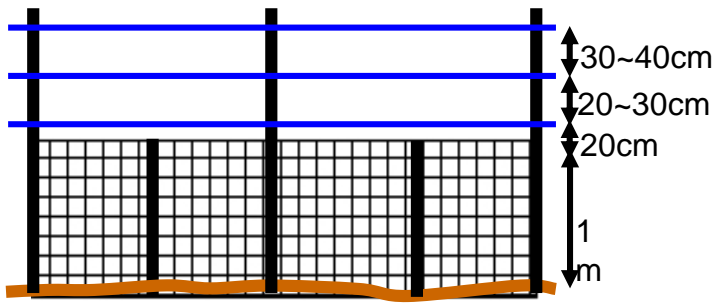


接合部

隙間・凹地

柵を組み合わせてバージョンアップ

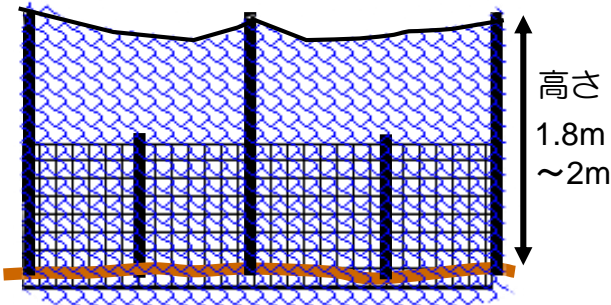
ワイヤーメッシュ+電気柵



ワイヤーメッシュ	電気柵（柵線間隔）
網目：10cm以下	1段目：20cm
線径：5mm程度	2段目：20～30cm
柵全高：1.8m以上	3段目：30～40cm

(※)空中では通電しないので、3段目は通電不要です。

ワイヤーメッシュ+樹脂ネット

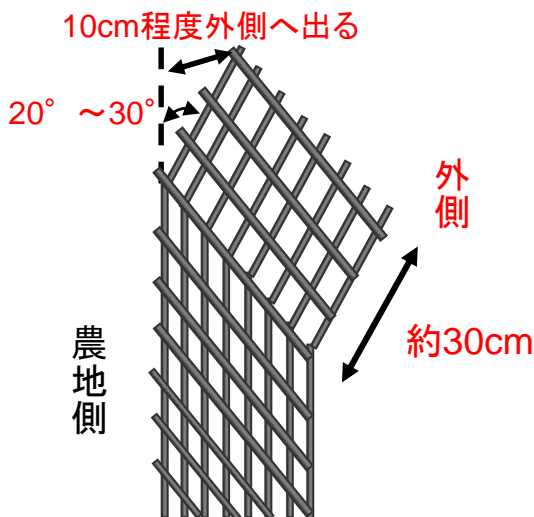


(※)樹脂ネットをワイヤーメッシュの外側（獣側）に垂らして、下部を固定する。

工夫を加えて 防除効果のアップ

忍び返し

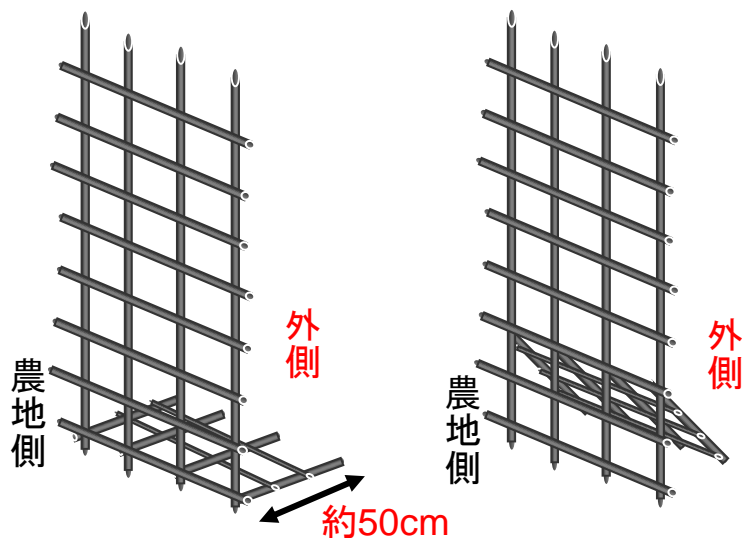
跳び込み防止！！



- 上部30cm程度を外側へ20～30°折り曲げてしのび返しを作る。
- 曲げすぎると足がかりになるので注意。

折り返し

もぐり込み、持ち上げ防止！！



- 下部約50cmを外側に折り返す。
- (※)折り返しても、必要な高さを維持する

スカート

- ワイヤーメッシュを、外側に斜めに追加
- (※)草刈り、蔓切りするには、外す必要がある